(3) 左翼ハ経済的困窮度ノ到来ト共ニ
労働者ヲ指導シ、失業労働者ノ生活擁護、
困窮打開等ノ問題ニ大衆ヲ動員シ、特ニ
組織同盟ノ労働組合指導者ヲ見越シ、大工
場内ニ於テ細胞、大衆獲得ヲ目標トシテ、
産業合理化ノ深刻ト大衆ノ左翼化ヲ
促進セシガ故ニ将来自ラ招クモノト認ムヘシ、
極左組合ニハ極左ノ第一義的指導紀念十九年、モ比
擁護団体ニシテ勝手ニ組合トノ提携ニ於テ労働
組合トシテノ性質ナカリシガ、目覚的ニ資本
家ト点ニ對抗シ、大衆ガ左翼化スルニ至リ、
大衆トヲ分裂セシメシ運命ニ至レリ。其ノ後ノ

協調會

方針決定ニ当リ、シノ発展ハ無視スルノ外ナシ、
左右両翼ノ展望ヲ要約スルニ、総同盟ハ大衆ノ
左翼化ニ依リ、組合大衆ノ孤立化、労働者ノ
從属ヲ要スル為ニ労働ハ問題ニ付テハ左
翼ノ如キ立場ニ於テ、全国労働ノ
影響ヲ被リシガ、此ノ際ハ空気ヲ激成シ、以テ左翼
ガ此ノ如キ国家化ヲ動機トシテ攻撃ヲ加フ
ルコトヲ得ズ、更ニ批判ヲ大衆ニ示シ、組合ニ加フ
ル、総聯合ハ運動方針ノ行詰リ無定見ニ
全国労働ニ於テモ之ニ新鮮味ヲ有シ、東京交通
工務会、東電従業員ノ組合ニ於テ従来ノ事業ニ
依リテモ、経済的要求ガ益々産業内ニ於テ極限

財團 協調會